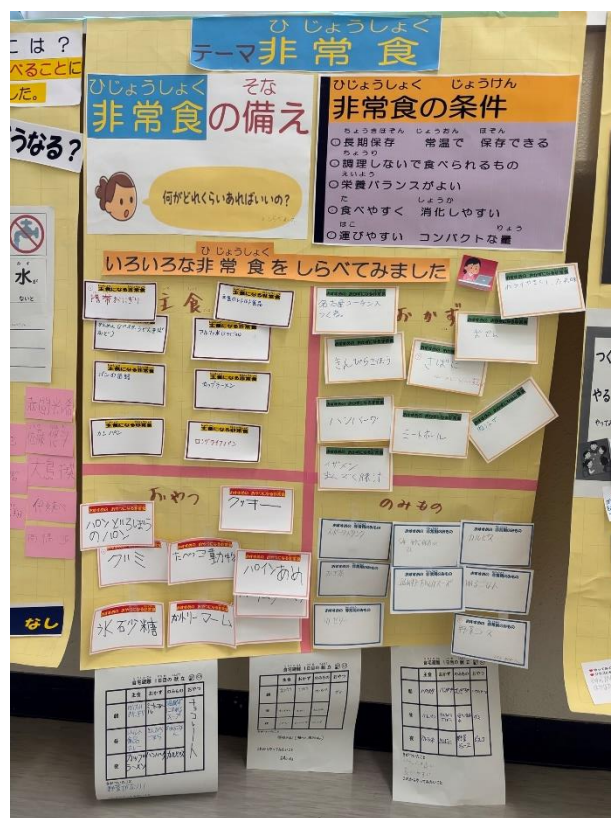
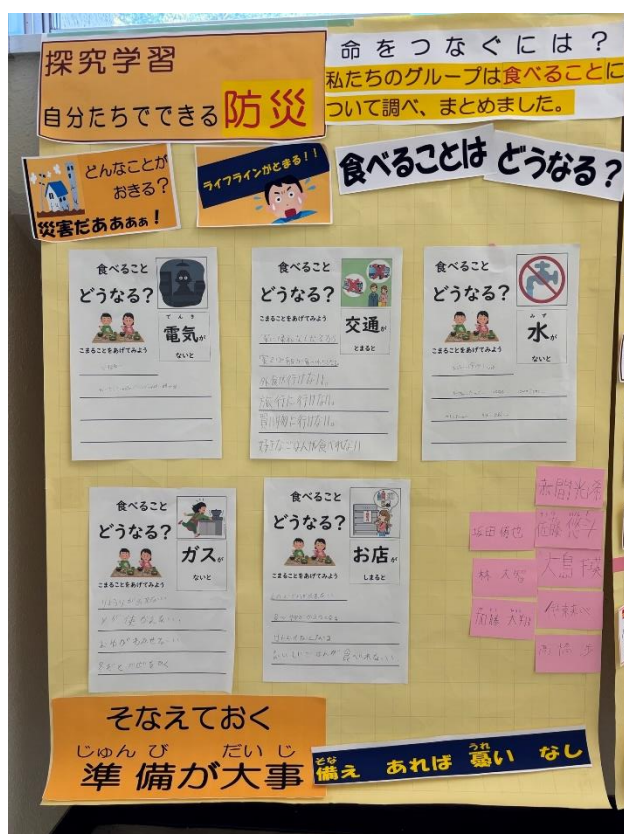




少し前の話になってしまいますが、10月3日(金)～4日(土)に1泊2日でB部門1年生の防災宿泊学習が行われました。これは毎年B部門の1年生が行っている、災害時の生活を想定して学校に宿泊するというものです。消防署にご協力いただき起震車で地震の揺れを体験したり、水消火器を使って消防訓練を行ったりするほか、食事は非常食、夜は電気が使えなくなった時を想定し、懐中電灯を頼りに校舎内の探索（これはちょっとしたお化け屋敷気分を味わえます）、そして体育館で寝るという避難所生活を疑似体験します。段ボールを使っての寝床作りでは生徒達の個性がよく出ていました。スマホやゲーム、テレビと離れての生活ですが、生徒達は真剣に、時に楽しみながら1泊2日を過ごしました。

事前学習では非常食について調べたり、地図を使って災害リスクがある地域や避難について学ぶ「DIG」学習を行ったりします。写真は非常食について学習したグループが作成したものです。単に調べるだけでなく、「災害が起きたら、自分達の生活はどうなるのだろう?」「1日に必要な非常食はどれくらい?」「自分にできることは何だろう?」と考えながら学習を進めました。



学校では、夏休み前に『【防災ミーティング】をしてみませんか?』と各ご家庭に呼びかけを行いました。事後のアンケートでは「きちんと話し合ったことがなかったので、良いきっかけになった。」「携帯電話以外の連絡手段を知らないの、災害発生時の連絡方法を話し合いました。緊急時のためのアイテム（小銭、171表記）を持たせることを検討しようと思います。」「家族全員で確認することで、何かあった時に落ち着いて行動することができると思いました。」などの感想をいただきました。災害に備えてできること、子ども達と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。